

協会と計量関係団体との統合で 今後の新協会への期待に込める

(社)神奈川県計量協会会長 岡崎 洋

明けましておめでとう
ございます。新春にあたり、皆様のご健康とご多
幸を心からお祈り申し上
げます。
昨年は、依然として景
気が低迷する中で、経済
政治、国際情勢等の先行
きが誠に不透
明で、全体的
に沈鬱な雰囲
気から抜け出
せない年とし
ました。しかし、
その間にあつ
て日韓共催の
ワールドカッ
プサッカー大
会が人々の気
持ちに明るさ
を与えてく
れ、また、三
年連続のノー
ベル賞受賞が
青少年の方々
にも希望を与えてくれ
た、そんな一年であつた

としたいと思います。
今、神奈川県が抱える
課題は、経済・雇用・少
子化・高齢化、環境問題
など、様々です。このこ
とに、誠に厳しいものが
あります。
このような中であつ
て、私も(社)神奈川県計
量協会は、公益法人の社
会的使命である正しい計

量観念の樹立を達成すべ
く、計量に関する知識と
技術の向上を促進し、産
業の発展と文化の向上の
ために地道な諸活動を展
開して参りました。

初夢(命・水)

神奈川県計量証明事業協会会長 片桐勇吉



2003年1月2日 湘南・茅ヶ崎の初日の出

平尾嘉治氏撮影

謹んで新年のお
慶びを申し上げます。
元日早々、6人
目の孫が誕生した
夢を見ました。目
鼻立ち良く、マツ
毛の長い可愛い子
であり、今年に幸
先の良い年になる
と信じて、口の
乾きと周囲の騒々
しさに目を覚ます
と、昨年の暮れよ
り押しかけていた
孫たちがお年玉を
もらう為に寝床を
もたせました。

困っていたのです。新し
い年に新しい命の誕生の
夢とは縁起も良く、わが
家は活気もあり、子孫繁
栄、まことに喜ばしいか
ざりと悦に入っていた正
月でした。
しかし、現実を目をや
れば国内経済は依然とし
てデフレスパイラルを脱
しきれず、わが業界もこ
の波にもまれ大変な状況
にあります。
さて、話しは変わしま
すが昨年の師走半ばにベ
トナム、カンボジアを訪
問しました。常々外国旅
行から帰って思う事は、
日本は四季に恵まれ、水
が豊かで、医療、教育、
治安が充実しているとい
うことです。訪問した
2ヶ国では飲料水の不自
由さには大変苦労いたし
ました(水道・生水は
全く飲むことはできませ
ん)。日本はいつでもどこ
でもおいしい水が飲める
国であったはずでした
が、近頃は水道もその
まま飲める状態にありま
せん。ましてや自然水に
おいては汚染が拡大しつ
つあり、特殊な場所に行
かなければ味さえなく
なっています。現代社会
は繁栄の名のもとに自然
破壊が急速に進んでいま
す。酒水の滝、秦野湧水
群と当県にも名水百選に
記されている銘水があり
ますがこれとて自然水と
して飲用するにはむづか
しい状態にあります。
昨年、計量法改訂の中
で環境保全等の要請に従
い極微量物質の計量証明
事業について、認定制度
の導入等の措置が規定さ
れ、これに伴い一般計量
証明事業も信頼性向上、
不正行為禁止措置の導入
が図られ、消費者保護、
市場の公平化、公正な運

登録と指定

【登録】
計量証明事業
計量「アライ」リスト
△(山北町)
計量士
「一般」真殿一基(東燃
ゼネラル石油(株))
「環境(濃度)」中之園良
(日本鋼管(株))、川口幸則
(森永製菓(株))、青木久雄
(株)八洋コンサルタン
ト、中嶋忍(住友重機械
工業(株))、表篤志(松下電
器産業(株))、小木聡(千代

例えば一般県民へは、
6月の横浜開港祭への参
加、11月1日の計量記念
日のかながわ計量フェア
の実施等による計量思想
の啓発普及につとめ、会
員には、各種技術講習会、
講演会の開催、計量計測
先進工場の見学など可能
な限りの事業展開を推進
して参りました。
本年は、過去3年有糸
に及ぶ本協会と計量関係
団体との統合問題を決着
させ、まさにエポック・
メイキングな年にして参
りたいと心から願ひいた
して参ります。これまで
各団体が様々な課題を解
決しながら大同団結に向
けて尽力を賜って参りま
したことに對し、改めて
敬意の念を表する次第で
す。今後の新協会には、
神奈川県計量の自他共に
認める中核となつて計量
のあらゆる情報を発信
し、更に情報交換の場
を提供していくことが21
世紀のあるべき姿として
期待が寄せられていま
す。新しい皮袋には、新
しい酒を入れるべく、ど
うぞ会員各位の更なるご
尽力とご支援を賜ります
よう心からご祈念申し上
げる次第です。
最後になりましたが、
会員各位のご健勝と更な
るご発展を心からお祈り
申し上げます、私の年頭のこ
挨拶といたします。

迎春

社団法人

神奈川県計量協会

会長 岡崎 洋

副会長 下河内 洋

副会長 加藤 清

副会長 鈴木 和

副会長 林 吉

専務理事 西島 隆

専務理事 横須賀 健

専務理事 木井 治

専務理事 村上 邦

専務理事 木村 邦

川崎市計量協会

会長 鈴木 清次

川崎計量機器工業会

会長 井上 薫

川崎計量管理研究会

会長 栢之間 昌治

神奈川県計量士会

会長 木村 邦雄

神奈川県計量証明事業協会

会長 片桐 勇吉

神奈川県環境計量協議会

会長 石渡 裕

神奈川県適正計量推進協議会

会長 中嶋 茂行

有限会社 田中屋

代表取締役 鈴木清次

〒233-0001 川崎市高津区溝ノ口 14-1

電話 044-833-1301

FAX 044-844-6021

工業用計量機のメンテナンス

大和のハカリ

●特約店 ●サービス指定工場

はかり・製造・修理・販売
南武ヤマトハカリ(株)

〒230-0004 横浜市鶴見区元宮1丁目9番25号
TEL. 045-573-7797
FAX. 045-573-7798

日本計量新報

ご購入のご案内

弊紙は計量・計測・科学に関する政治・経済・新製品ニュース、新技術その他関連する事項をタイムリーに素早くお伝えする計量専門紙です。

的確・迅速な報道・解説・論評を心がけております。
「計量法」についてはタイムリーな紹介や解説、問題点の指摘など。
寄稿や投稿、座談会、インタビュー、随筆など楽しい豊富な記事が盛りだくさん。

発行日 毎週日曜日発行(週刊)
体裁 タブロイド判、通常8ページたて
価格 年間 26,250円/1部(税・送料込み)

読者特典
計量計測情報コンテンツをもつ
ウェブ・サイト
「計量計測データベース」の
年間契約料
25,000円 10,000円

mail@keiryu-keisoku.co.jp

